

Windows Defender は Windows10 に備わっている無償のセキュリティソフトであり、これの推奨を「Windows10 セキュリティソフト（ウイルス対策ソフト）19.09.19」でしていますが、その弱点を補うために以下の2点を追加する。

## 1. ランサムウェア対策

ランサムウェア(Ransomware)とは、マルウェアの一種であり、これに感染したコンピュータは、利用者のシステムへのアクセスを制限する。この制限を解除するため、被害者がマルウェアの作者に身代金を支払うよう要求するものである。身代金を仮に払っても制限の解除が出来ない悪質なものもある。マルウェア(Malware)とは、不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェアや悪質なコードの総称。

スタートボタン > 設定 > 更新とセキュリティ > Windows セキュリティ > ウイルスと脅威の防止 > ランサムウェアの防止 > ランサムウェア防止の管理 > コントロールされたフォルダーアクセスを→ にする

2. Google Chrome の拡張機能に「有害サイトへアクセス時に警告を出す機能」を追加  
Google Chrome を立ち上げ検索画面に Microsoft Defender Browser Protection を打ち込み検索する > Microsoft Defender Browser Protection が最上段に表示されるのでクリックする > Microsoft Defender Browser Protection 画面の Chrome に追加 ボタンをクリックする

Windows Defender はマイクロソフトの製品であり、Edge では機能するが、Chrome では機能しないので拡張機能により Chrome でも機能するようにするため